

## 平成 29 年度第 3 回さぬき市子ども・子育て会議 会議要旨

1 日 時 平成 30 年 3 月 9 日（金）18：00～19：10

2 場 所 さぬき市福祉事務所 303 会議室

3 出席者

[委 員] 佐竹勝利 杉浦修造 谷口広海 白井利恵 谷澤和子 山本千景  
 槇野弓恵 木村睦子 榎垣満 大西由美 植田美香 筒井美佐子  
 （欠席 3 名）

[事務局] 山本孝広 白井邦佳 富田克美 山下隆則 石原裕二 山本陽子

[傍 聴] 0 名

4 議 題 (1) さぬき市子ども・子育て支援計画について  
 (2) 各施策の実施状況等について  
 (3) その他

5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	ただ今から「平成 29 年度第 3 回さぬき市子ども・子育て会議」を開会いたします。
(健康福祉部長)	開会にあたりまして、山本健康福祉部長よりご挨拶をいただきます。 平成 29 年度の第 3 回目となります子ども・子育て会議に、時間を繰り合わせご出席いただきましたこと、また日頃から子育て支援行政等々の事業にご理解ご協力をいただき改めてお礼を申し上げます。保護者や保護者になろうとする方々が子どもを産み育てるうえで、より良い子育て支援環境はどうあるべきかなど皆さんのご意見ご提言をいただきたいと思えます。
(事務局)	委員 15 名のうち 12 名の方の出席ですので、「さぬき市子ども・子育て会議条例」第 5 条第 3 項の規定に基づき、委員の過半数の出席により本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします。 また、「さぬき市附属機関の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、本日の会議は公開となりますのでご了解ください。 なお傍聴の申し出はありません。
(会長)	議案第 1 号「子ども・子育て支援計画の中間見直しについて」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。
(事務局)	子ども・子育て支援計画の中間見直しについて説明します。幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について、平成 27 年度と平成 28 年度の実績値、平成 29 年度の見込値を基に平成 30 年度、31 年度の計画値を出し、確保方策を確認いたしました。変更内容についてパブリックコメントを実施しましたが、意見はありませんで

	<p>したので、県に協議をかけたうえで正式に変更となります。</p> <p>なお、平成 30 年度には次期計画の資料となる、アンケート調査を実施する予定です。</p>
(会長)	<p>パブリックコメントの結果、特に意見が無かったということですが、ご意見等がございましたら、お願いします。</p>
(会長)	<p>平成 30 年度にアンケート調査の実施について、県からの連絡等はいつ頃くるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>県に確認したところ、未定とのことですが、計画策定には調査は必要だと考えています。今後は、子どもの貧困や学習支援などについても考えていかなければならないと思っています。</p>
(委員)	<p>子どもの貧困ですが、全国では 6 人に 1 人という状況にあると聞いていますがさぬき市においてはどのくらいか、つかんでいますか。</p>
(事務局)	<p>市独自の調査ではありませんが、昨年、県の子どもの未来支援アンケートにおいて県下全域の小学 2 年生、5 年生、中学 2 年生の 3 学年を対象として実施しており、その部分のさぬき市のデータについては、クロス集計したものがあります。さぬき市の貧困率は 10 数%で、県内より少し高めであったかと思えます。その結果についてさぬき市独自の公表はしていませんが、県のホームページで公表されています。</p>
(会長)	<p>議案第 2 号「各施策の実施状況等について」、事務局の説明をお願いいたします。</p>
(事務局)	<p>妊娠から出産・育児における情報をわかりやすく集約し切れ目のない情報提供となる子育てハンドブック「すくすくファイルさぬきッズ」をこのほど作成しました。</p> <p>子育てハンドブックは、今年度 1,500 部作成予定でしたが、来年度福祉事務所自体が移転しますし、保育所・幼稚園が統合して認定こども園になるなど 1 年後にかなりの変更が見込まれるため、今年度は 800 部の発行とし、来年度で残り 700 部を発行する予定です。修正部分の差替えが可能なファイル形式としています。妊娠届の際に配布予定ですが初年度ということで、赤ちゃん訪問時等にも配布いたします。</p> <p>次にさぬき子育て支援ネットワークのフェイスブックについて説明いたします。さぬき市子育て支援ネットワーク「ハートフルタウン」のフェイスブックを立ち上げ、このページにおいて、子育てボランティア等の団体情報やイベント、子育て支援センターの情報など発信していくように準備を進めています。</p>
(会長)	<p>今ご覧になったさぬきッズのファイルやフェイスブックについて、ご意見等がございましたら、お願いします。</p>
(委員)	<p>ファイルに中の情報はネットで検索することが可能ですか。その場合、検索して簡単に見れますか。</p>
(事務局)	<p>ホームページにアップしますので、平面で見たい方と印刷したい方に対応出</p>

	<p>来るように考えています。</p>
(委員)	<p>ホームページ対応ですか。スマートフォン対応ですか。</p>
(事務局)	<p>スマートフォンでも見れるようになりますが、市のホームページがどの程度スマートフォン対応になっているかは調べておきます。</p>
(委員)	<p>スマートフォンに対応していないと、見たいところになかなかたどり着かないので、スマホ対応にして使いやすくしてください。</p>
(事務局)	<p>ほかにもファイルの中のお出かけマップのQRコードを読み取ると、公園等のパノラマ画像が見れるようになっています。</p>
(委員)	<p>ネットでもどこかをクリックしたら画像が見れますか。</p>
(事務局)	<p>ネット展開でQRコードを読み取ると同時に見れると思います。</p>
(委員)	<p>ネット展開する時は、使いやすいようにお願いします。</p>
	<p>ダウンロードが必要ですか。</p>
(事務局)	<p>見るためのダウンロードが必要です。</p> <p>情報発信が弱いというご指摘がありますので、すこしからでも情報発信をしていこうとしています。今回は、情報発信に特化した部分をご紹介させていただきました。</p> <p>フェイスブックを立ち上げたのは、子育て支援のネットワークづくりをこれからしていかなければならないということで、情報発信も重要ですが、ボランティア団体とか子育て支援センターでしていることも発信できたらと考えています。内容については、皆さんのご意見をいただきながら対応していきたいと思います。</p>
(委員)	<p>このファイルを800部と言われましたが、どこに置いて誰に配布するのですか。</p>
(事務局)	<p>部数に限りがありまして、妊娠期からの切れ目のないサービスということで、まずは妊娠届の時、年間出生数が約250名、それから赤ちゃん訪問の時にお配りして30年度で500～600部がはけてしまうと考えています。残り200部は、子育て支援センターとか子育て関係の団体等にお配りしたいと思っています。</p>
(会長)	<p>配布した時には、誰に配布したか記録しておくのですか。</p>
(事務局)	<p>そのつもりでいます。妊娠届と赤ちゃん訪問では手渡しですので管理できると思っています。</p>
(会長)	<p>差替えの際は、どうしますか。</p>
(事務局)	<p>差替えについては、修正の部分がどれほど及ぶのか見ていきながら考えていきます。</p>
(委員)	<p>差替えにあたっては、送り届けたりしますか。</p>
(事務局)	<p>積極的に送ることは考えていませんので、ご自分で印刷してファイルにしてくださいなのですが、印刷できない方には対応していきます。</p>
(会長)	<p>変更点については広報されますか。</p>
(事務局)	<p>周知をしたいと思います。</p>

(委員)	サイズはこの大きさですか。
(事務局)	中はA4 を半分にした大きさで、ファイルの厚さはもう少し薄いかと思いません。
(委員)	フェイスブックのことですが、今からと話を聞きましたが行政や社協以外の情報は何が入りますか。
(事務局)	写真とかいろんな情報を載せるので、情報量が多すぎて探しにくくならないように、運用しながら考えていきます。
(委員)	民間の方の情報も見れるのですか、それともお知らせに留まるのですか。
(事務局)	このことについても今から考えていきます。
(委員)	更新することによってタイムリーな情報が入るようにしてください。
(会長)	他にご意見がなければ、議案第3号「その他」について、事務局からお願いします。
(事務局)	平成30年度から新たに始める事業を説明します。まず、ICTを活用した新たな子育て支援策として、7月頃より電子母子手帳アプリの導入を考えています。妊産婦と子どもの健康データの記録・管理や予防接種のスケジュール管理、出産・育児に関するアドバイスの提供など育児や仕事に忙しい母親や父親を助けてくれる便利な機能が充実しています。育児日記や成長記録機能、またその記録を離れた地域に住む祖父母など家族との共有機能もあり、新たなコミュニケーションツールとしても活用できるようになっています。
	次に、平成30年度より、保育サービス利用者支援事業を開始します。この事業は、香川県が保育所等の待機児童対策の一環として実施するもので、さぬき市においては、今の時点で待機児童は発生していないものの、潜在的待機児童も対象となることから、潜在的待機児童が一時預かりやファミリーサポートセンターを利用する場合、利用料の一部を助成することにより、子育て支援策の充実を図るものです。
(会長)	アプリということですが、インストールするわけですか？
(事務局)	ダウンロードをしていただくことになります。子育て世代の方は、スマホ世代ですので、紙ベースでの情報よりスマホで検索して情報を得る方が多いようです。紙での母子健康手帳は、記念になるという良さがありますが、アプリは、記録や写真保存、祖父母とも共有できるなどいろいろな機能があります。
(副会長)	潜在的待機児童の現状はどうですか。高松市では保育士が足りないことも原因であるらしいのですが。大学の卒業生は、公立に行くのか、何人ぐらいの卒業生がいるのかどうでしょうか。
(会長)	公立に行ってしまうことはないです。かなり競争率が高いですし、人数的には私立に行く人が多いです。ただ、今年、60名のうち半数ぐらいが幼保以外の小学校特別支援とか一般企業に就職しました。来年もほぼ同じぐらいです。幼保関係の待遇が必ずしも良くないことから、景気が良くなると一般企業に行く傾向があります。

(副会長)	香川大学教育学部でも、学校関係に就職するのは6割ぐらいだと聞きました。一般企業に行くらしいですが、さぬき市において、人材は確保できているのですか。
(事務局)	潜在的待機児童は、29年度は3人か4人です。民間保育所にはご無理をお願いして120%受け入れてもらっています。公立の場合は100%で切っていますが、その理由は、災害が起きた時に緊急的受入れの要素として20%空けています。来年度については、なるべく待機児童を出さない方向で公立の100%以上の受入れをします。職員の確保については、4月にスタートできる準備はできています。ただ、途中入所の受入れについては、産休育休の職員の復帰を待つことに加え断続的に職員の募集を行っていきます。
(副会長)	経営的には、100%以上でないと運営が苦しいので中途入所をできるだけ受け入れたいのですが、去年までは職員の確保で困ったことがなかったのに最近では苦しくなっています。来年度の学生の人数はどうですか。
(会長)	入学生は70名台ぐらいです。ここ2年間は80名ぐらいでしたので安定していると思います。
(副会長)	過去には、女性の人気就職先ベスト3に入っていたので期待しているのですが。民間の保育士に対する助成といった補助金があれば、集まってくるかもしれないのでよろしくをお願いします。
(委員)	来年、再来年度に幼保連携型認定こども園が立ち上がると聞いていますが、情報がありますか。
(事務局)	<p>平成30年4月1日から葭池保育園が認定こども園に移行します。名称は、よしいけこども園で定数は、保育所籍が120名、幼稚園籍が15名です。遊戯室と保育室の増築を予定しています。それから、長尾地区に新設で平成31年4月開園予定、定数80名の認定こども園ができます。遺跡の発掘で若干工事が遅れていると聞いておりますが12月に園舎が完成予定です。公立については、津田地区に幼保連携型認定こども園を建設中で、平成30年7月完成、31年4月開園の予定です。園の名称を現在通われている4施設の保護者と津田町の住民の方を対象にアンケートを取った結果、約200通の回答のうち8割ぐらいが「津田こども園」でしたので、この名称を教育委員会と議会に挙げます。定員は130名を予定しています。</p> <p>全国的に待機が多いということで、企業主導型保育所が国の直接補助で設置できるようになっています。さぬき市においても1社が平成30年8月1日開所予定です。企業主導型保育所はそこにお勤めの方、契約社員の方が原則ですが空きがある場合は定員の半数は地域枠が設定されます。定員12名ですので地域枠は6名ということになります。</p> <p>先ほどの長尾に建てられるのはどこがされるのですか。 認可申請がまだなのですが、長尾福祉会です。</p>
(委員)	長尾福祉会は高松市栗林でもこの4月に開園する予定です。認定こども園で

<p>(事務局)</p>	<p>はなく保育所で、定数 80 名のうち入所申込みは定数の半数と聞いています。 さぬき市においても保育士の確保や近隣への影響のこともあり、予定の定数 130 名から 80 名にしています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>小学 1 年生の子どもがいますが、企業主導型保育所でも他の保育所や幼稚園と同じように専門の先生方から教えていただいているいろいろな経験ができるのですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>認可型なので職員配置については同等程度になると思いますが、おそらく園庭はないと思います。昨年度、香川県内で 80 社の設置があり、ほとんどが介護の事業所や病院といった職種で、従業員の人材確保がメインとなっているようです。企業主導型保育所は、保育士も委託の業者が入るのが一般的のようです。運営そのものも委託の業者が行うようです。</p>
<p>(会長)</p>	<p>全体をとおしてご意見ありませんか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>来年度以降、子どもの人口はどうですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>平成 29 年の出生数は 240 人でかなり少なくなっていますが、過去最低だった前年度よりプラス 2 人です。今は小学生が 350 人から 400 人いますので段々減少しています。長尾地区、志度地区の減少割合が少ないとはいえ、亡くなる方も相当多いので徐々に減少しています。</p>
<p>(会長)</p>	<p>平成 30 年度の子ども・子育て会議は、6 月若しくは 7 月に開催予定です。 他にご意見がなければ、本日はこれで終了したいと思います。</p>